



第28期総会開催中の様子

第二十八回総会開催 第二十八期役員・予算案議

REF第二十八回総会が七月十三日(金)福井県職員会館で行われ、三十名を超える出席を得て、新役員・新予算などの議決のほか、新役員による今期の活動報告が表明された。総会では、酒井俊雄幹事長からの挨拶があり、伊戸康清総務による新入会員紹介及び会員等移動報告、酒井俊雄幹事長による第二十七期活動報告の後、議事に移った。

議長としては宮本好昭氏が選出された。その後議長としての進行の元、決算報告、予算案、役員改選などの議決を行った。その際特にかねてからの問題として、会費について熱い議論が交わされ、早急に解決すべき問題として扱われた。また、二十八期の活動方針として新幹事による各活動への決意表明などが表明された。

その後会場を移し、懇親会が開かれ、服部正秀氏の司会により進行された。その際、様々な方たちからのスピーチや、新入会員たちの自己紹介を交えるなど、和やかな雰囲気の中、懇親会は進み、会員相互の交流を深めた後、閉会した。

第二十七期役員(敬称略) は新任役員 (任期 平成十九年七月〜平成二十年七月)

会長	児玉 忠	県土木部技幹
副会長	加藤 哲男	名古屋産業大学
幹事長	酒井 俊雄	総合環境設計事務所
副幹事長(広報)	川本 義海	福井県土木事務所
" (研修会)	三田村 佳紀	福井県土木事務所
幹事	菅原 桂一郎	福井県土木事務所
(総務)	服部 正秀	福井県土木事務所
(財務)	林 快宗	中央測量設計
(機関誌)	木村 晃規	福井県土木事務所
(ホームページ)	中村 健志	福井県土木事務所
(談話会)		
分科会幹事		
(交通)	李 泰榮	福井県土木事務所
(地域交流)	沢崎 幸夫	福井県土木事務所
(緑)	道久 英一	福井県土木事務所
(地盤)	林 快宗	中央測量設計
(地象)	梅田 祐一	帝国コンサルタント
(都市美)	白井 秀和	福井県土木事務所
(まちづくり)	佐々木 義明	サンワコン
支援幹事		
小野 恵	福井県土木事務所	
上村 祥代	福井県土木事務所	
高倉 淳美	福井県土木事務所	
稲葉 隆夫	福井県土木事務所	
本多 義明	福井県土木事務所	
富田 伊太郎	福井県土木事務所	
監査		
顧問		

収入の部		予算	決算	増減	備考
目	費用	(A)	(B)		
会費	正学生会費	1,979,000	1,886,000	113,000	
	学生会費	1,572,000	1,548,000	24,000	延べ129人
	青年会費	39,000	39,000	0	延べ13人
	青年会費	168,000	159,000	9,000	延べ53人
	中間報告会費	100,000	60,000	40,000	
	総務会費	100,000	60,000	40,000	
収入金	第24期繰越金	467,819	56,404	411,415	
	第24期繰越金	467,819	56,404	411,415	
預金利息	預金利息	81	96	15	
	預金利息	81	96	15	
雑入	雑入	0	0	0	
	雑入	0	0	0	
計	計	2,446,900	1,922,500	524,400	

第二十八期予算報告(平成十九年七月一日)
平成二十年六月三十日

収入の部		予算	決算	増減	備考
目	費用	(A)	(B)		
会費	正学生会費	1,979,000	1,114,000	865,000	
	学生会費	1,572,000	926,000	646,000	延べ131人
	青年会費	39,000	39,000	0	延べ13人
	青年会費	168,000	18,000	150,000	延べ56人
	中間報告会費	100,000	69,000	31,000	
	総務会費	100,000	62,000	38,000	
収入金	第24期繰越金	467,819	467,819	0	
	第24期繰越金	467,819	467,819	0	
預金利息	預金利息	81	173	92	
	預金利息	81	173	92	
雑入	雑入	0	0	0	
	雑入	0	0	0	
計	計	2,446,900	1,581,992	864,908	

第二十七期決算報告(平成十八年七月一日)
平成十九年六月三十日

支出の部		予算	決算	増減	備考
目	費用	(A)	(B)		
事業費	分科会活動助成金	560,000	560,000	0	7分科会×8万円
	分科会活動助成金	100,000	100,000	0	
	研修会女性印刷費	400,000	400,000	0	
	機関紙印刷費	300,000	300,000	0	
会議費	中間報告会費	360,000	300,000	60,000	
	中間報告会費	160,000	100,000	60,000	
	総務会費	200,000	150,000	50,000	
事務費	会議室管理費	205,000	160,000	45,000	
	会議室管理費	30,000	30,000	0	
	通信連絡費	120,000	120,000	0	
	通信連絡費	50,000	5,000	45,000	
	旅費	5,000	5,000	0	
予備費	予備費	21,900	2,500	19,400	
	予備費	21,900	2,500	19,400	
積立金	積立金	500,000	100,000	400,000	
	積立金	500,000	100,000	400,000	
計	計	2,446,900	1,922,500	524,400	

支出の部		予算	決算	増減	備考
目	費用	(A)	(B)		
事業費	分科会活動助成金	560,000	1,032,396	327,604	
	分科会活動助成金	100,000	320,000	240,000	
	研修会女性印刷費	400,000	40,221	359,779	
	機関紙印刷費	300,000	418,075	118,075	
会議費	中間報告会費	360,000	235,295	124,705	
	中間報告会費	160,000	107,672	52,328	
	総務会費	200,000	127,623	72,377	
事務費	会議室管理費	205,000	257,897	52,897	
	会議室管理費	30,000	30,000	0	
	通信連絡費	120,000	225,499	105,499	
	通信連絡費	50,000	1,200	48,800	
	旅費	5,000	1,188	3,812	
予備費	予備費	21,900	0	21,900	
	予備費	21,900	0	21,900	
積立金	積立金	500,000	0	500,000	
	積立金	500,000	0	500,000	
計	計	2,446,900	1,525,588	921,312	

【分科会報告会】

総会に先立ち、第二十七期の分科会活動の報告が開催された。今回は四分科会から研究成果が報告された。地方鉄道、景観、斜面団地における防災など今後、福井のみならず全国的に問題となってくる題材を取り上げ、REFらしい報告が行われた。今年度のIREからの奨励金は、分科会に授与された。以下に簡単な研究の要旨と議論された内容について掲載する。

【地盤分科会】

発表者 林 快宗 氏
 討論者 今度 充之 氏

「地名から安心居住の地を探る」
 様々な災害が各地で起きています。安心して暮らすために災害に強い場所に住みたいという願望がある。しかし、住宅購入時における検討要因としては利便性、快適性、経済性などととまっています。今回の研究は土地の歴史を凝縮している「地名」を用いることで安心居住の地を探ることができないか。その有用性を検討している。

【交通分科会】

発表者 三寺 潤 氏
 討論者 三田村 佳紀 氏

「積雪・過疎地域における地方鉄道」
 全国の地方鉄道の中でも特に、積雪など自然状況に移動の確保を左右される地域、過疎地における公共交通の空白な地域の地方鉄道を役割の大きさから重要視し、キーワード分析を通して特徴を把握することを目的とした。

【緑分科会】

発表者 道久 英一 氏
 討論者 小林 孝彰 氏

「福井の白山眺望景観 景の抽出と分析」
 二十五期、二十六期の内容と共に、地域住民に分かりやすい広域的景観計画策定のアプローチ手法としての眺望景観分析による計画立案手法の可能性・効果を探るため、眺望マップを作成し、活用した後、ビューポイント等の抽出・分析を行っていく。

【地象分科会】

発表者 橋本 栄治 氏
 討論者 林 快宗 氏

「斜面に造成された住宅団地における防災」
 昨年の降雨特性と2年前の福井豪雨とを比較して、土砂災害が起きた地区が斜面開発により造成された団地であることに着目し、斜面における住宅団地について、土砂災害における安全性、問題点を検討した。また、日頃の防災対策への備え、避難情報の伝達のあり方といったソフト面にも着目し、検討を行った。



懇談会の様子



第27期分科会報告会の模様

入退会のお知らせ

- 《入会》
 正会員 竹山 清隆 (232)
 会友 なし
- 学生会員
 小野 恵
 上村 祥代
 高倉 淳美
- 《退会》
 正会員 金井 和信 (133)
 水間 洋一 (164)
- 会友 福 秀則 (353)
- 学生会員 徳岡 秀一 (501)
 田中 翔太 (502)
- 《異動》
 (正会員 会友) 小塚 みすず (226) 360
 (学生会員 正会員) なし
- (学生会員 会友)
 吉川 琢磨 (503) 359

【第二十八期幹事会開催】

第二十八期第二回幹事会が十一月十四日(水)に(財)地域環境研究所にて開催された。

まず、各分科会において現状報告がなされ、活発な議論が交わされた。また、会員の移動報告、REFニュー入の発行などについても意見が提案された。

具体的な内容として、談話会についての報告が行われ、間近にせまっていた談話会への参加等について話がされた。開催された談話会の詳細については下記に記す。

また、支援幹事への謝礼。また滞納者が多い会費についての問題が提案され、様々な議論、提案が行われた後、今回ひとつの案として左に示す様な内容を中間報告会で提案する流れとなった。

【会費について】

第二回幹事会において会費滞納問題を解決するための議論が行われた。

特に、長期の滞納に渡る場合、全てを徴収するのは不可能に近いということ、滞納者本人も何年分滞納しているのか十分把握できていないという現状、会費の徴収不足により運営資金が切迫しているなどの事情を考慮し、今後、幹事会として対応策を提案したいと考えております。

つきましては、提案した際には、REFニュース等を通して、会員、会友の皆様からも多数のご意見を頂きたいと考えております。

【談話会活動報告】

第七十一回 R E F 談話会が十一月十五日(水)福井県職員会館にて開催された。

今回は、松本隆二氏、脇本幹雄氏により、鹿兒島県鹿兒島市の視察報告を行ってもらいました。

松本氏からは、新幹線開通前後の駅前地区の変化を通して、拠点施設であるアミュプラザ鹿兒島中央駅のデザイン性や観光施設としての集客力等、現状報告がなされた。

脇本氏からは、市民の足として活用されている、低床型路面電車のユートラムにおける現状と今後の展望に関して報告がなされた。

また、その後の意見交換では、福井市との比較による両市の違いの原因と改善方策について、活発な議論が交わされた



低床型路面電車について話す脇本幹雄氏

【中間報告会のご案内】

第二十八期中間報告会の開催が決まりましたのでお知らせします。

日時：平成二十年二月六日(水)

場所：福井県民会館

皆様大変お忙しいとは存じますが、奮ってご参加下さい。

【福井県内 まちづくりの話題Ⅰ】

福井鉄道の福武線利用促進市民フォーラムが十一月二十八日(月)越前市の福祉健康センターで開催された。

福井鉄道の今枝孝司氏より福武線の現状報告があり、安全対策などの課題が述べられ、福武線の存続には市民の強い意志が必要であると訴えた。その後えちぜん鉄道の島洋氏からえち鉄の取り組み報告があった。パネルディスカッションでは、コーディネーターの川上洋司教授から、鉄道がまちに果たしている役割について講釈があり、各パネラーからは、福武線の必要性や愛着が実体験を以て語られた。

会場には約350名の市民が参加し、立ち見ができるほどであり、福武線を支えていこうという熱意が見られた。



【福井県内 まちづくりの話題Ⅱ】

地域生活の維持・改善に不可欠な道路。その道路の使い方、造り方に関するシンポジウムが十月三十一日(水)にI R E (財団法人地域環境研究所)主催の元、福井織協ビルで執り行われた。

基調講演として国土交通省より宮地淳夫氏が講演を行い、海外から国内を見たときに道路整備予算の減少が著しいこと。またとりわけ福井県においては他県と比べ交通体系整備の面で遅れが見えていること。安心安全という観点や観光といった面からも道路は関係が非常に深いといった内容等、我々を取り巻く現状を述べられた。

その後、パネルディスカッションに移りこれからの道づくりと道づかいについて話し合われた。

この中では、福井県における道路整備の歴史に始まり、県内の道路案内標識の分かりにくさについても言及されていた。特に道路標識については誰のための物を今一度考える必要があるのではないかという意見が出された。また、道路整備に求められるものとして緊急時の信頼性、冬の安全性向上などの項目が意識調査から出ていることなど、非常に活発した議論が展開された。

参加者も専門家、関係者、学生ら合わせて約二百三十人が参加するなど関心の高さが伺えるシンポジウムとなった。



シンポジウム 福井織協ビルにて